

## これからの行事予定

### 《恒例》 ロビーコンサート

芽室合唱団によるクリスマスコンサート

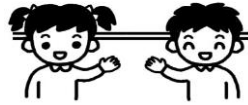


とき 12月13日(木曜日)  
午後6時00分から  
ところ 公立病院 受付ロビー

### MOA帯広児童作品展作品展

特別賞展(絵画、書道など)

## 作品展



とき 1月15日(火曜日)から  
2月15日(金曜日)まで  
ところ 公立病院 1階待合ロビー

## ことばの勉強 ①

### <コンビニ受診>

夜間や休日など一般診療時間外に軽症患者などが救急外来を受診すること。急病ではない患者が、仕事など自分の都合を優先させ、一般診療と同じ様な感覚で救急外来を利用すること。重症患者の受入れや入院患者の急変対応に支障が生じるほか、医師の超過勤務・過労の一因となり救急医療体制の崩壊につながるとして問題視されている。

<辞典より引用>

- ◆ 特に小児救急外来でコンビニ受診の増加が著しい。これは、核家族化による親の知識不足・不安過剰などによるものと考えられている。

## 情報をありがとうございます

### 『週刊 ダイヤモンド』

右の雑誌は、事務局に届けられたものですが、ちなみに、どなたが届けて下さったのでしょうか?



内容は

『あなたが住む地域の「頼れる病院」はどこなのか。あなたが通う病院は頼れるのか。医療の機能は十分か。健全経営なのか。これらの問いに答える北海道県ランキングをお届けする。』(記事中文章より) というもの

経営的評価を加えた『頼れる病院ランキング』北海道編で公立芽室病院は55位にランキングされています。(道内の国立大学病院から民間病院を含む)  
十勝管内では、17位 厚生病院、22位 北斗病院  
36位 協会病院、55位 公立芽室病院の4病院だけ

# 支える会 っうしん

公立芽室病院をみんなで支える会広報  
第5号  
2012年11月30日発行

## 第2回 病院との懇談会

10月19日(金曜日)、会員と病院との懇談会が48名(病院職員11名)の参加により開催されました。

最初に、公立芽室病院の原子看護師から地震などの緊急時にいかに患者の安全を確保するか、透析室独自で検討作成された『透析室災害対策マニュアル看護師編の作成』についての発表がありました。(内容は「北海道国保地域医療学会」で発表されたのと同じです)



原子看護師の発言

つづいて、武田総看護師長からは、『最近の病棟の様子』についてのお話がありましたが、題目以上に実情を訴える「看護師は、本当に一生懸命仕事をこなしているが、なんとしても看護師が足りていない」という切実なものでした。

次に、小窪院長から地域医療の現状について、公立芽室病院の経営状況についてなどの説明があり懇談に入りました。懇談会では、出席者から医師や看護師に対する感謝の意見や病院スタッフだけでは人手が足りなく賄えないことなどあれば、町民や病院利用者の力を借りてはどうかという意見がでました。ジェネリック薬品の取り扱いに関して「安全面から慎重に・・・」という意見が参加者からあり、公立病院の取組みについて説明がありました。

また、いくつかの質問に病院の各担当者が答弁する場面があり、年間、315人の誕生を見守られた谷垣副院長(小窪院長曰くスーパードクター)に対して「そのバイタリティーはどこからくるのか」との質問に「仕事が好きだ、まだまだ頑張れる」と心強い言葉が返ってきました。

今回の懇談会では、公立病院から大勢の職員の方たちが出席して下さいまして質問などに答えていただくなかで、普段、知らないでいたことを知ることができたり、職員の方たちの生の声を耳にしたことで、なにか親しみが増したような気になったそんな懇談会でした。

谷垣副院長 質問に答えて



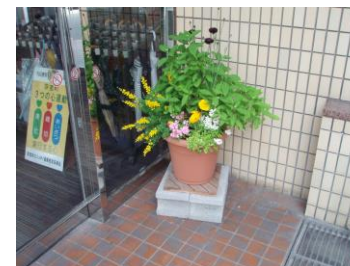
先日、ある町議さんが折込み配布したというピラに失望しています。その内容は、何の確認もなく許可取ることもなく実名を挙げて懇談会での発言を取り上げ、さらに、公立病院が6年ぶりに黒字決算をしたという報告に対し、一般会計からの繰入金をあが赤字体質と批判(?)するかのようなものでした。せっかく懇談会に参加して下さいましたので、その場でみんなと話し合っておそそ芽室町民ではないか考えます(事務局)

## 病院周辺美化事業 花壇跡片付け

公立病院の前庭を飾っていたペコニヤやサルビアの花が片付けられました。当日は、20名(病院職員6名)の方たちの参加があり十分な人手があったので予定よりも早く終了することができました。



作業風景



美化ボランティアとして協力して下さいましたフラワーマスターの方の寄せ植え

残念ながら6回(6株)にわたり抜き取られる被害に遭いました。その都度、植え替えて下さったフラワーマスターの皆さんありがとうございました。

## 会員募集中

随時募集しています。

会員数(11月30日現在) ・一般会員 201名 ・団体会員 1団体 ・法人会員 9法人

問い合わせ

62-1439(会長宅)

(公立病院事務局でも入会できます)

# TPP と医療問題

選挙などの関係もありニュース等をにぎわせている TPP 問題「賛否両方の意見」が飛び交っている。何をどう信じていいのかわからない。日本医師会も「反対」を表明。反対の意見書のようなものを読むとみんなが同じように命を守る診療を受けるために長い目で見て自由診療が増えると自己負担が増えることが書かれている。

医者が自分の利益を守るために「反対」しているのではないかという意見やアメリカは何も国民皆保険をなくせと言っていないという意見もネット等の賛成派は熱く語っている。経済問題でもお金のあるところにはよりお金がくる仕組みがあり貧富の差が開くという見解が多い。

ひとつ参考になるかもしれない事実として韓国で米韓FTAが発効されてから半年が経過したという事実は参考になるかもしれない。なぜなら米韓FTAはTPPのモデルとも言われる協定だと言われているからだ。韓国によるとアメリカの多国籍企業によって、韓国の医療の公共性が解体され、医療の営利産業化が進められそうだという事だ。

進行中の動きとして「独立的再評価機構 (independent review body)」の設置があり、韓

国の薬価政策に影響が出そうだ。もう一つ韓国では公的医療保険のカバー率が低く、多くの国民は民間医療保険に併せて加入する。このため、疾病を持つ人への加入の拒否や、必要なときに保険金が支給されないといった問題が頻発している。こうした状況の改善も難しくなった。米韓FTAが定めるISD条項のためだ。ISD条項はFTAで、投資先の国が行った政策・規制によって不利益を被ったと企業や投資家が判断すれば、裁判に訴えることができるというものだ。公的な保険の拡大や民間医療保険への新たな規制は、アメリカの医療保険企業の営利活動への侵害とみなされ、ISD条項を使った提訴の対象となりかねない。市場を独占している等の論争で裁判になり多額な請求をされる恐れがあるそう。

日本のTPP問題は、アジア各国の保健医療運動とも密接につながっているように感じる。TPP問題も支える会の活動にも大きく影響する地方医療の問題でもあるようです。賛成派も反対派もいっぱい意見を言っていて何が正しいかわかりにくいけれど、何年か先の芽室町の医療にかかわる問題らしいので「知らなかった」で済まさない工夫をしたいものです。みんなが学習できたらいいですね。



## 2名の着任医師の紹介

小児科の医師は 浅野医師



健康診断担当医は 伊井医師



5年ぶりに北海道で勤務しています。支える会の皆さんには、ごあいさつができず残念ですが、院内で見かけたら、気軽に声をかけてください。

浅野 貴大

10月に九州から移ってきました。特老跡地に少しでも緑が増えるとよいですね。

伊井 宏一

〔伊井先生は、内科外来も担当しています〕

## TPP で心配されている医療問題

おじいちゃん、久しぶり！  
おいしいお酒、飲んでる？  
あれ、  
こっちも景気の悪い顔

ウチの村も無医村になってな。  
町の病院は保険がきかない診療が多くなって、年金暮らしには高すぎる。  
TPPに参加したら、営利企業が病院を経営するようになって公的医療保険で診察してくれるところが減ってしまったんだ。

高額な自由診療の増加

健保適用診療範囲の縮小

不採算部門や地域からの撤退などのおそれがあります

- ✓ 混合診療解禁 → 高額な保険外診療が拡大
- ✓ 過度なコスト削減で医療の質が低下
- ✓ 所得による診療格差拡大
- ✓ 無医村の増加、地域医療の崩壊

TPPに参加すると、医療機関が自分で診察料を決められる保険外診療が増え、医療費が高くなると心配されています。また、営利企業が病院を運営し、過度なコストダウンで医療の質が低下したり、もうからない診療科目や地域から撤退してしまう心配もあります。

小児科の先生が新しくなって変わったことはありますか？

小児科外来の診療時間などが変更になっています。

小児科 外来診療

＜公立芽室病院ホームページより＞

一般外来スケジュールは、次のとおりです。

	月	火	水	木	金
午前	休診	浅野	浅野	浅野	休診
午後	休診	休診	休診	休診	休診

※ 休診時間帯の緊急時対応は、小児科医師に確認のうえ、受診可能です。

予防接種（予約制） 火曜・水曜 午後2時～午後3時

インフルエンザ予防接種 木曜 午後

1か月健診 月曜 午後2時30分～午後3時